

# 山北宮農だより

## 令和7年11月

TEL:75-1311（営農購買）

### ——【温州みかん】＊下線が引いてあるものは重要防除です。必ず防除を行いましょう。——

|                                                                                                 |                                                   |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------|
| 仕上げ摘果                                                                                           |                                                   |
| 加工ミカンを無くすために、樹上選果を継続してください。                                                                     |                                                   |
| 施 肥                                                                                             | 11 月上旬                                            |
| ○秋肥 特選みかん配合 655 120kg／10a                                                                       |                                                   |
| 施肥後、軽く中耕しましょう。ただし、着色が著しく遅れている樹木は、窒素の影響により着色不良の原因となりますので、施肥量を減らしたり、施肥時期を遅らせて、着色促進に影響が無いようにしましょう。 |                                                   |
| 病虫害防除                                                                                           |                                                   |
| 10 月下旬～11 月上旬                                                                                   |                                                   |
| ○ミカンハダニ <u>オマイト水和剤 750 倍 収穫7日前 2 回 133g ／ 水 100 ㍓</u>                                           |                                                   |
| ＊ 秋のミカンハダニは、果実の着色不良の原因となります。散布ムラの無いように防除しましょう。                                                  |                                                   |
| 防除を徹底し、ハダニを貯蔵庫内に持ち込まないようにしましょう。                                                                 |                                                   |
| 11 月中旬 貯蔵病害に注意しましょう。                                                                            |                                                   |
| 貯蔵病害                                                                                            |                                                   |
| ○青かび病<br>○緑かび病<br>○軸腐病                                                                          | <u>ベルコートフロアブル 2,000 倍 収穫前日 3 回 50ml ／ 水 100 ㍓</u> |
|                                                                                                 | <u>トップジンM水和剤 2,000 倍 収穫前日 5 回 50 g ／ 水 100 ㍓</u>  |
|                                                                                                 | <u>同時散布</u>                                       |
|                                                                                                 |                                                   |

※昨年まで使用してきたベフトップジンフロアブル（ベフラン＋トップジン M）は、2025 年 10 月に農薬登録が失効しました。11 月以降は在庫のベフトップジンフロアブルも有効期限が切れているため使用できません。

※降雨が多い場合は、再度散布をしましょう。

温州みかんと中晩柑では農薬の使用 방법에違いがあります。ラベルをよく確認しましょう。

|                                                   |  |
|---------------------------------------------------|--|
| その他                                               |  |
| 自園地にて発生が見られたら重点的に防除をお願い致します。                      |  |
| カメムシの被害が多いと果実落果も予想されますのでご注意ください。                  |  |
| カメムシ スタークル顆粒水溶剤 2,000 倍 収穫前日 3 回以内 50 g / 水 100 ㍓ |  |
| 又はロディー乳剤（劇） 2,000 倍 収穫7日前まで 4 回以内 50ml / 水 100 ㍓  |  |
| ※ 収穫時期を迎えている品種については散布日数にご注意ください。                  |  |
| 収 穫                                               |  |

大津四号は完全着色、青島温州は8分着色以上の果実から 2～3 回に分けて区分収穫しましょう。

また、病虫害果や傷果の園内廃棄は鳥獣被害を助長します。園外廃棄に努めましょう。

### ——【キウイフルーツ】——

|                                              |                        |
|----------------------------------------------|------------------------|
| 病虫害防除                                        | 11 月下旬～12 月中旬 （収穫後直ちに） |
| ○かいよう病 I Cボルドー66D 50 倍 2 k g ／ 水 100 ㍓       |                        |
| 土壌改良                                         | 11 月～2 月(収穫後)          |
| ○苦土石灰 100kg～200kg／10 a を施用 （ 土壌のp Hを調整するため ） |                        |
| 収 穫                                          |                        |

11 月上旬中旬以降の強い霜が降りる前に収穫・選果しましょう。収穫は果実温の高い時は避けましょう。収穫時は傷や打撲が生じないように丁寧に扱い、収穫した果実は、直射日光に当たないようにしましょう。コンテナ等に少しでも軟化している果実が混入すると、軟化果の発生につながるので、混入ないようにしましょう。果実温を上げないよう選別後は速やかに低温庫に搬入します。

### ——【う め】——

|                                                              |        |
|--------------------------------------------------------------|--------|
| 冬季剪定                                                         |        |
| 11 月～12 月中旬に縮間伐を実施しましょう。剪定は骨格枝作りを重視し、主枝の配置や内向枝・平行枝等の切除を行います。 |        |
| 蕾を傷めないために年内にノコギリ剪定（太枝の処理）を終了させます。                            |        |
| 灰星病対策                                                        |        |
| 灰星病の罹病枝がある場合は冬季剪定時に必ず剪除し、園外廃棄しましょう。                          |        |
| ＊灰星病の罹病枝がわからない方は、最寄りの営農経済センターにご確認ください。                       |        |
| 施 肥                                                          |        |
| ○梅配合 1 20kg ／ 10 a 10 月に施肥していない園は直ちに行いましょう。                  |        |
| 病虫害防除                                                        | 11 月上旬 |
| ○カイガラムシ類 アタックオイル 50 倍 2,000ml ／ 水 100 ㍓                      |        |
| 11 月中旬以降に時期が遅れると発芽不良や花芽を傷めやすいので絶対に散布をしない。                    |        |
| カイガラムシ類は梅の場合、防除適期が収穫時期と重なり防除が難しい害虫です。                        |        |
| <u>カイガラムシ類が多発している園では、この時期の防除を実施してください。（重要）</u>               |        |

### ——【水 稲】——

|                                                                                                                                                |      |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| スクミリンゴガイ対策                                                                                                                                     |      |
| 管内でのスクミリンゴガイ（別名：ジャンボタニシ）の発生地域が徐々に拡大しています。発生拡大を阻止するためにも、水田では耕耘(速度はゆっくり、ロータリー回転は速く)を行い、貝を傷つけ越冬させないようにしましょう。また、水路や排水溝なども越冬場所となるので、防除、清掃を必ず行いましょう。 |      |
| 冬季にできる水田の除草管理                                                                                                                                  | 雑草防除 |
| 一般には田植えから 7 月末頃に除草剤を使って除草を行いますが、多年生雑草の塊茎や根茎は種子より低温や乾燥に弱いことから、冬季の耕耘によって除草効果が期待できます。また、収穫 2～3 週間後の除草剤の散布は効果的です。                                  |      |
| 水田刈跡 雑草生育期薬剤 ラウンドアップマックスロード                                                                                                                    |      |
| ○一年生雑草 200～500ml／水 50～100 ㍓ 1 回                                                                                                                |      |
| ○多年生雑草 500～1,000 ml／水 50～100 ㍓ 1 回                                                                                                             |      |

#### 水稻土壌診断の取りまとめについて

1. 取りまとめ作物：水田（はるみ米研究会員以外）
2. 取りまとめ期日：令和 7 年 11 月 20 日（木）
3. 水稻土壌診断無償対象者：①正組合員及びその家族  
②収穫した米穀を販売している水田に限る（販売先は JA 以外でも可）  
※自家消費用の水田は対象外となります。
4. 無償点数：水稻 5 点までの分析  
※6 点目以降の診断依頼及び水稻以外の作物は有料になります。  
※詳細は営農経済センターにお問合せください。  
※はるみ米研究会員向けの土壌診断は別途ご案内している様式にてお申込み下さい。

——【野 菜】——

## タマネギの定植

9月には種したタマネギは、早生種は11月上旬、中晩生種は中下旬が定植時期となります（育苗期間はおおよそ55日）。定植時の苗は草丈が20 cm程度、茎径が6mm くらいのが大きさが適切で、これより大きいと春にトウ立ちする危険性があり、また分球する原因ともなります。

小苗定植では初期生育の不良や霜柱により倒れる恐れがあります。

苗は根が見えない程度の深さに植えるようにし、深く植えないようにしましょう

## 春キャベツ（3～4月収穫）の定植

秋まきキャベツは、本葉7～8枚が定植の目安です。大苗の方が小苗より定植後の生育がすぐれます。

まだ苗が小さい場合は、育苗床にトンネルをかけるなどして生育を進めましょう。

栽植密度は、うね幅間 60cm、株間 40cm が標準です。

## ニンニクの植え付け

### (1) 球種の準備

### ○球種（りん片）の選別

暖地系(平戸など)では、1 a 当たり 10~20kg の球種が必要。変色、腐敗が発生していないか確かめ、健全なりん片だけを選ぶようにする。大きいものが大玉になってよいが、大きすぎると裂球が増える。

### ○水浸漬と種球消毒

- ・萌芽を揃えるため、1～2日間水浸漬(水温は25℃以下)を行う。
- ・定植の2日前か前日に行うが、黒腐菌核病の被害が懸念される場合は、種球消毒を行う。種球が湿った状態で丈夫なビニル袋などに入れ、種球重量の0.5～1%のベンレート水和剤20を均一に付着させる。粉衣後、1～2日風乾してから植え付ける。

## (2) 植え付け

- ・芽が出る方を真直ぐ上に向けて植える。
- ・植え付けの深さ(覆土)は5～7cm で収量は変わらないが、浅植えでは裂球率が高くなり、10cm 以上になると生育が著しく遅れるので注意する。
- ・マルチ栽培で、穴あき黒マルチ 9415 以上の間隔(株間、条間 15cm 以上)とする。1a 当たり 1500～2200 株程度が最適な栽植密度。

### (3) 施肥量

マルチ栽培のため、緩効性肥料中心の全量基肥とする。

|               |         |      |
|---------------|---------|------|
| ジシアン有機化成S806号 | 20kg/1a | 植付け前 |
|---------------|---------|------|

## 令和 7 年産米の追加集荷の実施について

|             |                                                                 |
|-------------|-----------------------------------------------------------------|
| 集荷日         | 令和7年12月4日(木)                                                    |
| 集荷場所および搬入時間 | J A かながわ西湘 福沢総合選果場 午前8時45分～11時<br>J A かながわ西湘 成田総合選果場 午後1時30分～3時 |
| 集荷対象品種      | 学校給食対象品種<br>(キヌヒカリ・はるみ・さとじまん・てんこもり・コシヒカリ)                       |

出荷を希望される方は令和7年11月25日（火）までに最寄りの支店までご連絡ください。なお、契約の関係で7年産米の集荷は今回が最終となります。



JA かながわ西湘  
メールマガジン  
営農情報はメールで配信

スマートフォンや携帯電話、パソコンのメールから営農情報をタイムリーに受信できるのが『J A かながわ西湘メールマガジン』です。病害虫の発生に伴う防除や自然災害対策情報、講習会や即売会のイベント情報など、今知りたい情報を素早くお知らせ。畑にいるとき、または出先からでもチェックできます。

### 携帯電話などから登録する場合

### ①メールの新規作成画面を開く

(画面イメージは使用する機種によって変わります)



宛先またはToの欄に  
**ctuh7457reg@mr.cbz.jp**と入力し、  
**件名・本文は入力せず**に送信します。

### ③読者登録フォーム



配信を希望する情報にチェックを入れる  
(複数選択可能)。組合員区分を選んで  
最後に登録ボタンを押します。

②メールの受信に「JAかながわ西湘読者登録  
フォームのご案内」が届く



メールを開くと上の内容が出てくるので、  
枠内のhttpsからはじまるURLを選ぶ。

④メールの受信に登録完了のメールが届いたら完了です。

※返信メールが届かない場合、迷惑メール対策で受信拒否設定になっていることが考えられます。[@kanasei.kn-ja.or.jp](mailto:@kanasei.kn-ja.or.jp)を受信できるように設定してください

※登録したメールアドレスは、本サービス以外には利用しません

※登録料は無料です。ただし、登録時やメールを受信した場合は、通信料が発生します

メールマガジンの登録は  
QRコードからでもできます→

※QRコードリーダーによっては登録メールの画面が開かないことがあります。その場合は上記の①から順にご登録ください

